

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年12月09日

計画の名称	南武線駅アクセス向上等整備事業											
計画の期間	平成29年度～令和03年度(5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	川崎市											
計画の目標	JR南武線については、渋滞や踏切部の解消・環境改善等に向け、武蔵小杉駅から武蔵溝ノ口駅間の連続立体交差化が完了し、尻手駅から武蔵小杉駅間については、連続立体交差事業の事業実施に向けた関係機関との協議・調査等を進めている。こうした中、武蔵溝ノ口駅以北の5駅(稲田堤駅、中野島駅、宿河原駅、久地駅、津田山駅)については、片側改札口となっていることから、駅へのアクセス向上が求められている。このため、関係機関との協議等を踏まえ、鉄道による地域分断の改善や安全性・利便性の向上など駅へのアクセス向上に向けた取組を推進する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	9,670	A	9,670	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)		(H33末)
1	稲田堤駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約28,000人/日を約4,000人/日に削減 稲田堤駅の乗降人員は約53,000人/日※である。改札口に隣接する踏切の歩行者は約28,000人/日※であり、この踏切歩行者数を、自由通路及び橋上駅舎等の事業の完成後に調査する。 ※乗降人員はJR東日本ホームページに掲載されている乗車人員の2倍の数値とした。踏切歩行者数は実態調査による。	28000人/日	人/日	4000人/日
2	津田山駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約6,000人/日を約2,000人/日に削減 津田山駅の乗降人員は約8,000人/日※である。改札口に隣接する踏切の歩行者は約6,000人/日※であり、この踏切歩行者数を、自由通路及び橋上駅舎等の事業の完成後に調査する。 ※乗降人員はJR東日本ホームページに掲載されている乗車人員の2倍の数値とした。踏切歩行者数は実態調査による。	6000人/日	人/日	2000人/日
3	久地駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約9,000人/日を約1,000人/日に削減 久地駅の乗降人員は約28,000人/日※である。改札口に隣接する踏切の歩行者は約9,000人/日※であり、この踏切歩行者数を、自由通路及び橋上駅舎等の事業の完成後に調査する。 ※乗降人員はJR東日本ホームページに掲載されている乗車人員の2倍の数値とした。踏切歩行者数は実態調査による。	9000人/日	人/日	1000人/日
4	中野島駅の改札口に隣接する踏切の、踏切歩行者約19,000人/日を約3,000人/日に削減 中野島駅の乗降人員は約29,000人/日※である。改札口に隣接する踏切の歩行者は約19,000人/日※であり、この踏切歩行者数を、自由通路及び橋上駅舎等の事業の完成後に調査する。 ※乗降人員はJR東日本ホームページに掲載されている乗車人員の2倍の数値とした。踏切歩行者数は実態調査による。	19000人/日	人/日	3000人/日

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	川崎市	直接	川崎市	—	—	稲田堤駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路等整備	川崎市	■	■	■	■	■	2,611	—	
	A13-002	都市交通	一般	川崎市	直接	川崎市	—	—	稲田堤駅周辺地区都市交通システム整備事業	橋上駅舎化整備	川崎市	■	■	■	■	■	1,656	—	
	A13-003	都市交通	一般	川崎市	直接	川崎市	—	—	津田山駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路等整備	川崎市	■	■	■	■		1,486	—	
A13-004	都市交通	一般	川崎市	直接	川崎市	—	—	津田山駅周辺地区都市交通システム整備事業	橋上駅舎化整備	川崎市	■	■	■	■		993	—		
A13-005	都市交通	一般	川崎市	直接	川崎市	—	—	久地駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路、橋上駅舎化整備	川崎市	■	■	■	■	■	2,875	—		
A13-006	都市交通	一般	川崎市	直接	川崎市	—	—	中野島駅周辺地区都市交通システム整備事業	整備手法の調査、基本的な設計	川崎市		■	■	■		49	—		
											小計					9,670			

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						9,670			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R2	R3
配分額 (a)	447	124	391	188	0
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	447	124	391	188	0
前年度からの繰越額 (d)	0	259	5	172	188
支払済額 (e)	188	378	224	172	188
翌年度繰越額 (f)	259	5	172	188	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i=(g+h)/c+d)%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					